



S.Suzuki

THE HOPEFUL STAKES

第41回 ホープフルステークス (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 70,000,000円 28,000,000円 18,000,000円 11,000,000円 7,000,000円
付加賞 1,274,000円 364,000円 182,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牡・牝、2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

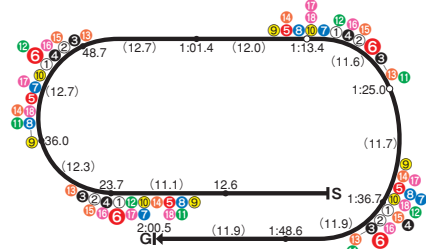
2024.12.28 中山 晴・良 芝2000m (国産) (指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	クロウデュノール	牡2	56	北村友一	2:00.5	7-7-4-3	34.9	496(-8)	1.8①	斉藤崇史(栗東)	117
2	①	ジョパンニ	牡2	56	松山弘平	2	7-7-9-7	34.8	484(±0)	19.1⑥	杉山晴紀(栗東)	112
3	⑦	ファウストラゼン	牡2	56	杉原誠人	1¼	16-16-1-1	36.0	454(-2)	303.3⑦	西村真幸(栗東)	110
4	⑧	ジュタ	牡2	56	坂井瑠星	1	5-5-7-5	35.3	510(+6)	26.5⑧	矢作芳人(栗東)	108
5	④	クラウディアイ	牡2	56	西村淳也	1½	5-5-7-7	35.5	432(+2)	67.2③	橋口慎介(栗東)	106
6	⑩	アスクシュタイン	牡2	56	横山武史	½	11-10-12-10	35.3	496(+6)	65.7⑩	藤原英昭(栗東)	105
7	③	ジェットマグナム	牡2	56	丹内祐次	ハナ	2-2-3-3	36.0	488(+4)	46.2⑤	安達昭夫(栗東)	105
8	⑤	レヴドロペラ	牡2	55	大野拓弥	1	14-13-16-13	35.2	448(-2)	209.4⑥	加藤士津八(美浦)	101
9	⑨	デルアヴァー	牡2	56	三浦皇成	クビ	16-16-15-13	35.3	484(+6)	35.1⑨	松永幹夫(栗東)	103
10	②	ショウナンマクベス	牡2	56	池添謙一	ハナ	3-3-5-5	36.0	478(+2)	122.4④	武市康男(美浦)	103
11	⑧	マスカレードボール	牡2	56	戸崎圭太	ハナ	14-14-12-10	35.5	472(±0)	9.9④	手塚真久(美浦)	103
12	⑪	ジュンアサヒソラ	牡2	56	横山和生	¾	1-1-2-2	36.8	494(-2)	54.2①	高柳瑞樹(美浦)	102
13	⑬	ピコチャンブラック	牡2	56	川田将雅	½	3-3-5-7	36.2	490(+4)	7.6③	上原佑紀(美浦)	101
14	⑦	ヤマニンブークリエ	牡2	56	武 豊	クビ	11-11-11-13	35.9	528(+10)	18.2⑤	松永幹夫(栗東)	101
15	⑬	リアライズオールド	牡2	56	菅原明良	1¾	13-14-16-16	35.7	508(+12)	138.0⑤	須貝尚介(栗東)	98
16	⑫	マジックサンズ	牡2	56	佐々木大輔	1¾	9-7-9-10	36.6	510(+10)	6.4②	須貝尚介(栗東)	95
17	⑪	アマキヒ	牡2	56	C.ルメール	1	9-11-12-16	36.5	488(+12)	23.5⑦	国枝 栄(美浦)	93
18	⑪	アリオンスマイル	牡2	56	木幡巧也	2	18-18-18-18	36.4	452(+10)	368.4⑩	土田 稔(美浦)	89

単勝⑥180円(1¼) 複勝⑥120円(1¼) ①280円(5¼) ③3,810円(17¼) 枠連①-③1,160円(4¼)

馬連①-⑥1,100円(4¼) ワイド①-⑥450円(3¼) ⑥-⑪15,600円(88¼) ①-⑪47,860円(118¼)

馬単⑥-①1,310円(4¼) 3連複①-⑥①140,500円(248¼) 3連単⑥-①①293,380円(642¼)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
36.0 - 48.7 - 1:01.4 47.1 - 35.5

アラカルト

- ・北村友一騎手はホープフルS初勝利。JRA重賞は24年7勝目、通算34勝目
- ・斉藤崇史調教師はキラーアビリティで制した21年に続くホープフルS2勝目。JRA重賞は24年4勝目、通算22勝目
- ・キタサンブラック産駒はJRA重賞通算17勝目
- ・東京競馬場デビュー馬の勝利は初(GIに昇格した17年以降)
- ・複勝3,810円、ワイド47,860円は各式別における本競走の最高払戻金額

クロワデュノール *Croix du Nord*

牡 青鹿毛 2022.3.21生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・斎藤崇史厩舎
馬名意味・北十字星(フランス語)

ライジングクロスGB系 F20-c

キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シュガーハート 鹿毛 2005	サクラバクシンオー オトメゴコロ
ライジングクロスGB Rising Cross 黒鹿毛 2003	Cape Cross 黒鹿毛 1994	Green Desert Park Appeal
	Woodrising 鹿毛 1992	Nomination Bodham

5代までのインブリード: Lyphard S5×S5 Busted S5×M5

INTERVIEW

佐々木淳史 厩舎長(ノーザンファーム空港)

陣営が万全の仕上げをしてくれました

パドックでの引き締まった馬体、そしてマイナス8キロの馬体重にも表れていたように、陣営が万全の仕上げをして、このレースに臨むことができました。暮れの中山開催というタフな舞台もこなしてくれると思っていましたが、誰よりもこの馬を理解している北村友一騎手が、自信を持って騎乗してくれたと思います。25年はさらに大きな舞台での活躍を期待します。

H.Yamanaka



6月の新馬戦(東京・芝1800m)を中身の濃い内容で完勝。5カ月の休養を挟んで臨んだ東京スポーツ杯2歳Sは成長期と重なり、大幅に馬体を増やして(フランス24キロの出走だったが、しっかりと勝ち切った。そんな前走をひと叩きされ、馬体も少し絞れて(マイナス8キロ)迎えたこの日は一段上の走りを見せた本馬。キタサンブラック産駒からまた1頭、前途に大きな夢を抱かせるスターが誕生した。

クロワデュノールも息の長い末脚を発揮。先に抜け出したファウストラゼンを坂の上りで捉えると、2着に追い込んだジョバンニ以下の反撃も寄せ付けずにゴールを駆け抜けた。

父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 中央20戦12勝(ジャパンC^{G1}、菊花賞^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(春)^{G1}2回、天皇賞(秋)^{G1}、大阪杯^{G1}、京都大賞典^{G2}、スプリングS^{G2})、年度代表馬2回、最優秀4歳以上牡馬2回、18年から供用〔代表産駒〕イクイノックス(ジャパンC^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}2回、宝塚記念^{G1}、ドバイシーマクラシック・首^{G1}、東京スポーツ杯2歳S^{G2}、日本ダービー^{G1}2着、皐月賞^{G1}2着)、ソールオリエンズ(皐月賞^{G1}、京成杯^{G2}、日本ダービー^{G1}2着、宝塚記念^{G1}2着、菊花賞^{G1}3着)、クロワデュノール(本馬)、ウィルソンテソーロ(JBCクラシック^{Jh}I、白山大賞典^{Jh}III、マーキュリーC^{Jh}III、かきつばた記念^{Jh}III)、ガイアフォース(セントライト記念^{G2}、フェブラリーS^{G1}2着)、スキルヴィング(青葉賞^{G2})、クリスマスバレード(紫苑S^{G2})、ラヴェル(チャレンジC^{G2}、アルテミスS^{G2}、エリザベス女王杯^{G1}2着)、サトノカルナバル(函館2歳S^{G2})、ジャスティンスカイ(洛陽S・L)、デーオーステルス(すばるS・L)、エコロデュエル(京都ジャンプS^J^{G2})

母ライジングクロスGB

英、愛、北米、伊、独、仏32戦5勝(パークヒルS・英^{G2}、ルーベS・英^L、英オークス^{G1}2着、プレステージS・英^{G3}2着、愛オークス^{G1}3着、ピウィッチS・米^{G3}3着、スプリングC・英^L3着)、08年輸入

クライナーヘルツ(10 牡父ネオユニヴァース)中央11戦0勝、地方14戦3勝

ライザン(11 牡父ネオユニヴァース)中央21戦1勝、豪1戦0勝

アースライズ(12 牡父マンハッタンカフェ)中央16戦3勝(カウントダウンS、賢島特別、フラワーC^{G2}2着、マーメイドS^{G2}3着、愛知杯^{G2}3着、オークス^{G1}4着)、ラスカンプレス Ⅷ(南武特別)の母

ミッキークロス(14 牡父ハーツクライ)中央15戦2勝(汐留特別)、地方11戦0勝

サトノレックス(15 牡父ダイワメジャー)中央2戦0勝

カリナン(16 牡父ヴィクトワールピサ)中央7戦0勝

(17 牡父スクリーンヒーロー)

フーリ(18 牡父スクリーンヒーロー)中央5戦0勝、地方34戦2勝

ライジングホープ(20 牡父リアルスティール)中央8戦0勝、地方21戦2勝

フェアアイル(21 牡父ミッキーアイル)中央7戦0勝

クロワデュノール 本馬(22 牡父キタサンブラック)中央3戦3勝(ホープフルS^{G1}、東京スポーツ杯2歳S^{G2}) 獲得総賞金116,789,000円

(23 牡父キタサンブラック)

(24 牡父サトノダイヤモンド)

※13(不妊胎)、19(流産)

前途に大きな夢を抱かせるスター誕生

前年の覇者レガレイラが1週間前に有馬記念を制し、改めて「ダイトルの重み」がクロースアップされた2024年のホープフルSは、2戦2勝のクロワデュノールが脚光を独占。出世レースとして名高い東京スポーツ杯2歳Sを快勝して臨んできたキタサンブラック産駒は、2018年のサートウルナリア(46・1%)、19年のコントレイル(40・6%)に匹敵する単勝支持率(44・2%)を記録した。結果的にも同馬は非の打ち所がない走りで見事、無傷の連勝を3に伸ばして2歳戦を通過し、名実ともに牡馬クラシックロードをけん引する存在に躍り出た。

外めの枠から注文をつけて先手を奪

ったジュニアサヒソラは、落ち着いたラップを刻んでレースを先導。3番人氣の支持を集めたアイビースの2着馬ピコチャンブラックは3番手の外につけ、打倒候補の筆頭格と目された札幌2歳Sの覇者マジックサンズは力みが目立つ走りでの直後に進出する。対してクロワデュノールと北村友一騎手のコンビはスムーズな折り合いで中団を追走。馬群の外を確保し、いつでも動ける「態勢を整えた。

向正面半ばでは17番人氣の伏兵ファウストラゼンが後方から思い切りよくスパート。一気に先頭へ並びかけ、ペースが上がる。これを追って徐々に

前との差を詰めた北村騎手は3番手に進出して直線へ。鞍上のリードに

クロワデュノールも息の長い末脚を発揮。先に抜け出したファウストラゼ

ンを坂の上りで捉えると、2着に追

込んだジョバンニ以下の反撃も寄せ

付けずにゴールを駆け抜けた。

6月の新馬戦(東京・芝1800m)を

中身の濃い内容で完勝。5カ月の休

養を挟んで臨んだ東京スポーツ杯2歳

Sは成長期と重なり、大幅に馬体を

増やして(フランス24キロの出走だ

ったが、しっかりと勝ち切った。そ

んな前走をひと叩きされ、馬体も

少し絞れて(マイナス8キロ)迎えた

この日は一段上の走りを見せた本

馬。キタサンブラック産駒からま

た1頭、前途に大きな夢を抱か

せるスターが誕生した。